

# 北海道で、自分らしい働き方を始めませんか。

北海道には、地域に根ざしたさまざまな産業や暮らしがあります。今回は、北海道で新たに自分らしい働き方を見つけた4人の方をご紹介します。



漁師  
平川 力樹さん  
(利尻町)

先輩漁師たちに支えられ  
漁業の道へ。

●移住のきっかけは？

札幌市出身で、大学卒業後、ドイツとスイスでヒョウロのサッカー選手をしていましたが、コロナ禍により2020年に帰国。次の道を探る中で興味を持ったのが、漁師の仕事でした。道の漁業就業体験

に参加して思いが強くなり、「漁業就業支援フェア」を通じて翌年に利尻町で就業しました。

●現在のお仕事は？

現在は3年間の長期研修中ですが、受け入れ実績の豊富な利尻町では、新規就業者の先輩が多くいて心強いです。親方をはじめ皆さんに助けられ、コンプ養殖とウニ漁などで生計を立てられるようになりまし。

●移住して良かったことは？

利尻島は食べ物がおいしくて暮らしやすく、自然遊びの宝庫なので飽きることがありません。自分たちの環境で好きな仕事ができることに喜びを感じています。



阿江牧場  
Sunset Farm  
阿江 邦彦さん  
阿江 うつきさん  
(せたな町)

地域おこし協力隊を経て  
念願の牧場主に。

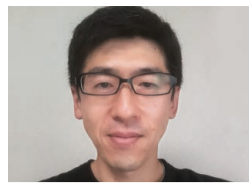
●移住のきっかけは？

兵庫県出身で、道内の大学で酪農を学びました。畜産関連会社で仕事をしていたときに、観光で訪れたのがせたな町。海に近い、高い丘に建つ牧場の風景に感激しました。

2018年、妻と一緒に町の「移住体験ツアー」に参加し、役場の親身なサポートもあって就農を決意。翌年春に移住し、地域おこし協力隊として酪農ヘルパーの仕事に従事する2年間を過ごしました。その間に得た酪農に必要な知識と技術、先輩酪農家とのつながりがいままも糧になっています。

●移住して良かったことは？

2021年春に念願の牧場主となり、現在は、乳牛30頭を飼育しています。酪農は、挑戦しがいのある素晴らしい仕事。毎日仕事と妻や子どもたちとの暮らしが、この環境は酪農ならではの醍醐味を感じています。



株式会社ルピシア  
執行役員 兼 ビール工場  
お茶開発部 兼 企画  
良知 博昭さん  
(ニセコ町)

ビール醸造と田舎暮らしの  
両方を実現しました。

●移住のきっかけは？

道外の食品会社に勤務していましたが、コロナ禍で転職を考えたため、内閣府は2021年12月、最大級の地震津波による具体的な被害や規模を推計し、防災対策を検討するための被害想定を公表しました。国の想定を受け、道では、太平洋沿岸の38市町を対象とし、より詳細な検討を行い、この7月にその被害想定を公表しました。

●今後の目標は？

地元の原料で北海道の皆さんに愛されるビールを造り、ビール工場と一緒に自分も成長していきたいと思っています。

アは、2020年に東京からニセコ町に本社機能を移転したばかりで、新しく手がける地ビール事業のスタックを募集していたのです。

●移住後の暮らしとお仕事は？

2021年春、家族4人でニセコ町に移住し、戸建ての社宅で暮らし、子どもたちが自然の中で遊びと遊べる環境が気に入っています。

●転職のきっかけは？

約16年間、地元で高齢者介護の仕事をしていましたが、次男の就職をきっかけに自分も心機一転しようとして、未経験分野への挑戦を決めました。



新和産業株式会社  
室蘭事業所  
輸送課環境班  
山崎 麻紀さん  
(室蘭市)

新しい仕事を通じて  
違う自分に出会いました。

●転職のきっかけは？

約16年間、地元で高齢者介護の仕事をしていましたが、次男の就職をきっかけに自分も心機一転しようとして、未経験分野への挑戦を決めました。

●現在のお仕事は？

縁あって2019年に入社したのは、創業120年を超える老舗企業で、工場構内で荷役作業を行う会社。私はそこで散水車ドライバーの仕事をしています。散水車は環境対策として構内での粉じんを抑えるために散水を行う特殊車両。もともと運転は好きでしたが、業務に必要な大型免許を、入社後に働ながら取得させてもらったのがありがたかったです。

# 冬に向けて、いまできる災害への備えを！

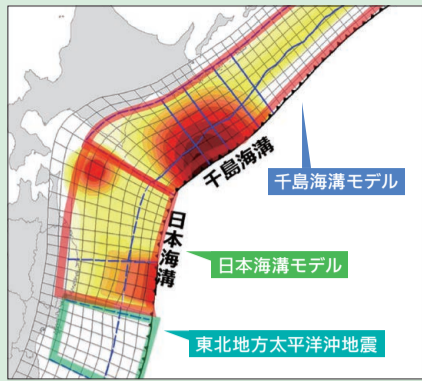
災害時の被害を最小限にするには、日頃の備えが肝心です。いまこそ、冬の防災対策を始めましょう。

数百年に一度のサイクルで発生している日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震は、発生が切迫していると考えられているため、内閣府は2021年12月、最大級の地震津波による具体的な被害や規模を推計し、防災対策を検討するための被害想定を公表しました。

この中で、冬の夕方に巨大地震が発生した場合、死者数は最大で約14万9千人に上ると推計しています。しかし、早期に避難することや、指定された津波避難ビルを活用するなどの対策を講じれば、死者数を大きく減らすことができれば、死者数を減らすことができます。

こうした巨大地震から命を守るためには、被害想定地域に住む住民の皆さん一人一人の防災対策が必要不可欠です。

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。いざというとき、速やかに避難できる備えはできていますか。冬を迎える前に、いまからできる備えをお願いします。



最大クラスの地震・津波を発生させる断層モデル



日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定について

## 非常時の備えチェックリスト

災害が起きると、一刻も早く避難が必要になることがあります。チェックリストを見ながら、非常時の備えをしておきましょう。

### 冬季は防寒対策を忘れずに

- 非常時に家から持ち出すもの(非常持出品)
  - ☐ 予備の電池、携帯充電器
  - ☐ ヘルメット・防災ずきん
  - ☐ マスク・軍手
  - ☐ ホイッスル
  - ☐ 緊急連絡先をまとめたノート
  - ☐ 防寒着・毛布・カイロ
  - ☐ タオル・衣類
  - ☐ 貴重品、常用薬

### ●外出先での被災に備えて持ち歩くもの(常時携行品)

- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ ホイッスル
- ☐ 避難用マップ

### ●運転中の被災に備えて車に積んでおくもの(車載常備品)

- ☐ 防寒着・毛布・カイロ
- ☐ 雨具・長靴
- ☐ 手袋
- ☐ 飲料水
- ☐ スコップ
- ☐ けん引用ロープ
- ☐ 十分な燃料
- ☐ ブースターケーブル
- ☐ スノーヘルパー
- ☐ スノーブラシ
- ☐ 簡易トイレ



## 寒さ対策を第一に 冬の防災対策をしっかりと。



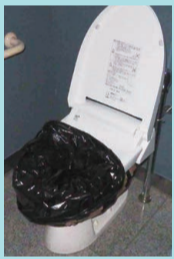
日本赤十字北海道看護大学 教授  
災害対策教育センター長  
根本 昌宏さん

●厳冬の避難行動  
真冬の屋外に出ても問題のない防寒着セットと必要な避難リュックを玄関先に置いておくといわれています。

冬場は、夏とは道路状況が違い、路面凍結や吹雪の中、どう避難するかを考えておくことが大切です。そのために、まず、避難場所を確認しておき、そこまでの避難経路や避難通路を把握しておきましょう。

### ●冬に必要な備え

冬季は気温がマイナスになるので、避難所などへ避難をする場合は、防寒着を含めて最低1泊分の冬装備が必要です。また、安全を確保した上で自宅に残る場合でも、被災直後は停電する可能性が高いので、電池式暖房器具やカセットコンロなどの備えがあると安心です。



写真は根本氏提供

### ●トイレ対策

さらに、断水中に重宝するのが「携帯トイレ」(写真参照)。自宅のトイレが使えない場合にも、ビニール袋を使って簡単にできる方法です。「携帯トイレ」は、便器にビニール袋を1枚かぶせ、その上に便座を下ろしてビニール袋をもう1枚かぶせる方法です。用を足したら凝固剤を入れ、上の袋だけ捨てます。

## 道の取り組み

### ●厳冬期防災訓練

道では、地域の皆さんと一緒に厳冬期を想定した訓練を実施しています。2021年度に行った訓練では、キッチンカーを利用した炊き出しや車中泊を実施しました。



2021年12月の訓練(北斗市)

### ●防災教育

道では、道教育委員会などと連携して「防災教育」の取り組みを進めています。

#### 防災教育教材

避難所運営ゲーム(Doはく)など各種教材を公開



#### 危機対策課チャンネル

津波避難動画や厳冬期の避難所運営等に関する動画をYouTubeで配信



釧路市立城山小学校で実施した避難所運営ゲーム(Doはく)

警報や避難指示、避難所など最新の情報をすぐ入手できるように準備しましょう！



北海道防災ポータル



北海道防災情報 Twitter

## 新型コロナウイルス感染症対策

※10月4日現在の情報です。

最新情報はこちら▶



### ●コロナ陽性となった方へ

#### 「北海道陽性者健康サポートセンター」

9月26日から、新型コロナウイルス感染者の全数届出の見直しを行い、65歳未満で症状の軽い方については、ご自身の健康管理による自宅療養をお願いしています。

もしも体調が悪化した場合は、看護師などが24時間体制で支援を行っている「北海道陽性者健康サポートセンター」にご相談ください。



北海道陽性者健康サポートセンター  
0120-303-111 24時間

※札幌市、函館市、旭川市、小樽市にお住まいの方は対応が異なります。各市ホームページをご覧ください。

### ●新型コロナウイルスワクチン小児接種のお知らせ

5〜11歳のお子さんも無料で接種できます。

#### 3回目接種まで受けることができます

1回目接種と2回目接種の間隔は通常3週間  
2回目接種から3回目接種の間隔は5カ月以上

保護者の皆さんには、十分な理解のもとでお子さんをご相談の上、接種をお願いします。疑問や不安があるときには、かかりつけ医のほか下記にご相談ください。



ワクチン接種の情報はこちら

※接種の予約・手続きについては、お住まいの市町村にお問い合わせください。

北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター  
0120-306-154 受付時間 9:00〜17:30(平日、土・日曜、祝日)

## 12月20日まで 「HOKKAIDO LOVE! 割」実施中!

「HOKKAIDO LOVE! 割」を使って、お得に北海道を旅しよう！JR、バス、タクシー、航空機、フェリーなどを利用する宿泊旅行商品で、北海道旅行をすると、一人1泊最大8,000円が割引されます。さらに、平日3,000円分、休日1,000円分の「ほっかいどう応援クーポン」をプレゼント！



対象期間 2022年12月20日利用分(12月21日チェックアウト分)まで

- ワクチン3回接種済(ただし、道民は10月31日利用分まで「2回目接種から14日間経過」での利用が可)
- 抗原定性検査などの結果が陰性である方

HOKKAIDO LOVE! 割 事務局 TEL.011-208-6220

## 「北海道で働きたい」その夢を応援します!

北海道の一次産業の  
新規就業に向けた情報サイト

### 「北海道の一次産業に就く」

農林漁業の仕事の魅力と就業体験プログラム、相談窓口を紹介しています。



北海道就業支援センター  
ジョブカフェ北海道

就職相談やセミナー、求人情報検索などのサービスが受けられます。子育て女性をはじめとする働きたい女性の就業支援も行っています。



オンラインやメール、電話での相談も受け付けています!

## 北海道移住のポータルサイト 「北海道で暮らそう!」

移住関連イベントや道内市町村の移住支援策などの情報を紹介しています。地域おこし協力隊の募集情報も!



北海道から86の市町村・団体が参加!  
●日時:11月6日(日) 11~17時 (最終入場16時30分)  
●場所:東京交通会館12階

道外にお住まいのご家族などにお知らせください!

ピックアップ!

## 地域情報

北海道の各地域から話題をお届けします。

北海道内市町村広報紙(誌)ページへのリンク集▶



### ●白老町

#### 高校生が地域と連携して 地元へ貢献!

地域と学校が連携して地元を学ぶ「北海道CLASSプロジェクト」の活動として、白老東高校の生徒たちは、仙台藩白老元陣屋資料館のホール観察会でホールの説明を行いました。

北海道白老東高等学校 TEL.0144-82-4280



館内放送でホールの説明をする生徒



### ●標津町

#### 標津サーモンパークは サケの産卵の季節

標津サーモンパークの標津サーモン科学館にはサケが遡上し、11月は産卵が観察できます。また春に「まちの駅 サーモンプラザ」がオープンし、レストランや土産店も充実しました。

標津サーモン科学館 TEL.0153-82-1141  
まちの駅 サーモンプラザ TEL.0153-85-7125



展望塔の「いくら」が目印「標津サーモン科学館」



### ●美幌町

#### 道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」が新しく!

屈斜路湖を一望できる道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」がリニューアル。道東ならではのセレクトショップや美幌町の食材を使ったレストランも充実します。人気スポットに。

道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」 TEL.0152-77-6001



展望台から一望できる屈斜路湖

